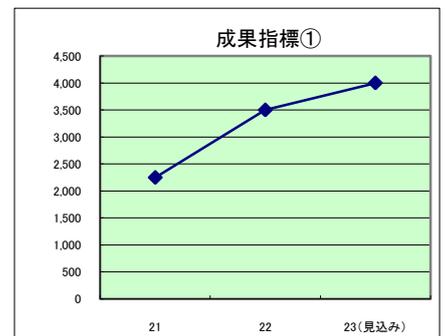
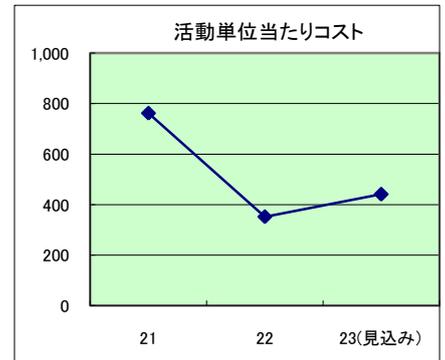


平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号 市人07

事務事業名		男女共同参画啓発冊子発行事業		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画		まちづくりの目標(章)	4		魅力ある地域社会を拓く活力あるまち	款	3	民生費	
		施策(節)	2		男女共同参画	項	1	社会福祉費	
		施策の方向	(1)		男女平等実現のための意識改革	目	7	人権施策費	
関連する計画等		羽曳野市男女共同参画推進プラン		作成部署	市民人権部人権推進課				
事業の目的	対象(誰を・何を)		市民・事業所・市民団体等		連絡先	072-958-1111 内線 1052			
	意図(どういう状態にしたいのか)		啓発活動を継続的に展開し、男女共同参画社会についての理解を深める。						
事業の内容	男女共同参画に関する市民・事業者等の意識や行動について、アンケート調査等を実施し、羽曳野市の現状に即した啓発冊子を発行している。冊子はイベントや事業開催時、また庁内や各施設に配布し、啓発している。								
	・「きらりHABIKINO」VOL.17(育ME N)及びVOL.18(デートD V)各2,000部発行								
根拠法令等		男女共同参画社会基本法							
事業開始時期		<input type="checkbox"/> 昭和 10 年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度		平成 年度			
事業開始時からの状況変化		事業開始時は一年に1回の発行を年2回発行している。							
市民や議会の要望									
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他( )							
委託先		<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称( ) <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他		委託内容					

区分		21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)
事業費【1】(千円)		216	183	252
人件費【2】(千円)		1,500	1,224	1,512
職員数	正規職員	0.20 人	0.17 人	0.21 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)(時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】(千円)		1,716	1,407	1,764
財源内訳	国費(千円)			
	府費(千円)			
	市債(千円)			
	その他(手数料・使用料等)(千円)			
	一般財源(千円)	1,716	1,407	1,764
活動指標(事業の活動実績)【B】		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 冊子発行部数	部	2,250	4,000	4,000
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		763 円	352 円	441 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		14 円	12 円	15 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	①	配布部数(式)	部	作成部数に対して、配布できた部数	2,250	4,000
				2,250	3,500	87.5%
②	(式)					達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
○					○	○		○		有	男女共同参画について、市民の理解を深め、性別役割分担意識を払拭する上で、市の関与は必要である。

視点	分析のためのチェック点	はい			いいえ			該当なし	分析・評価の説明
		はい	いいえ	該当なし	はい	いいえ	該当なし		
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	男女共同参画社会の実現に向けて、具体的かつ継続的な広報・啓発活動を展開する上で、啓発冊子等を作成することは妥当である。				
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	国・府の事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	印刷内容及び基礎資料(意識調査)を職員で作成、準備することで、コストダウンを図る。				
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	冊子での啓発は、男女共同参画社会の実現に有効であるが、発行部数が少ないため、広く市民に周知できていない。				
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民団体・NPO団体等と共同で内容を検証することで、より実情にあった啓発ができると考えられるが、協働による事業となっていない。				
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	男女共同参画を啓発する手段としては発行した冊子をすべて有効的に配布する必要があり、成人式やイベント・事業開催時に積極的に配布し、啓発している。				
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

担当部局評価	総合評価	
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	
	評価の理由	
	<p>男女共同参画事業の取り組み状況や法律・用語の解説などを盛り込みながら、羽曳野市の現状、国や府の動きなどもわかりやすく解説している。市職員自らが内容を作ることにより、経費の節減ができており、内容も市民により身近な記事となっている。しかし、現在の発行部数では広く市民へ周知できていない。</p> <p>今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)</p> <p>今後は市民団体・NPO団体等と協働して作成することも視野に入れ、より理解度の深まる記事について検討する。また、現在の作成部数では効果的な啓発活動として不十分であると考えられることから、広く周知できる啓発媒体を検討する。</p>	

行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	